

研究課題名	膠原病腸管病変の病態解明と活動性評価を目的とした新規バイオマーカーの探索
研究責任者名	広島大学病院リウマチ・膠原病科 教授 平田 信太郎
研究期間	2019年 月 日(倫理委員会承認後) ~ 2026年 3月 31日
対象者	2011年4月1日から2025年12月31日の間に、広島大学病院リウマチ・膠原病科を受診した18歳以上の膠原病患者で、腸管病変を呈した患者さん。
意義・目的	<p>膠原病患者では、腸間膜血管炎などの消化管病変を合併することが知られています。しかし現在のところ、鋭敏な活動性指標はなく、適切な治療介入が難しい病態です。今回、全身性エリテマトーデスなどの膠原病患者における腸管病変の病態を明らかにし、有用な活動性指標を探索するため、この研究を計画しました。</p>
方法	<p>本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。</p> <p>カルテから使用する内容は年齢、性別、BMI、診断名、合併症、既往歴、原疾患の治療内容、その他の治療歴、臨床症状、血液検査値（血球数、生化学検査、血沈）、画像検査、病理検査、医師・患者による活動性評価、転帰です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）</p> <p>また、通常診療で採取され残った血清検体がある場合は、病気の活動性との相関が期待されるバイオマーカーを測定し、重症度や転帰との相関を確認します。残った血清検体がない場合は、通常診療で施行された採血の際に5-10mL血液検体を追加で採取させていただくことができますが、その場合は、事前に説明し同意をいただきます。</p> <p>本研究は研究の実施について、研究機関の長の許可を受けています。研究対象となる患者さんに生じる身体的な負担はほぼなく、個人を特定できないようにして情報を解析するため、プライバシー侵害のリスクもありません。本研究により、腸管病変合併した膠原病患者さんの今後の治療に役立つことが期待されます。</p>
共同研究機関	ありません。
試料・情報の管理責任者	広島大学病院リウマチ・膠原病科 教授 平田 信太郎
個人情報保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりすることなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供いただいた情報や、試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。</p>

す。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-6891

広島大学病院 リウマチ・膠原病科 助教 吉田 雄介